

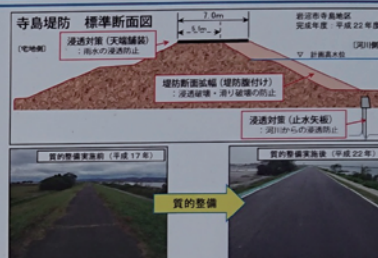


## 阿武隈川寺島堤防について

### 寺島堤防の歴史

この場所には、岩沼市街地を洪水被害から守るための盛土がありましたが、阿武隈川の洪水に耐える堤防ではなかったため、昭和 12 年から本格的な堤防の築造に着手し、昭和 49 年に天端幅 5.5m の堤防が完成しました。

その後、平成に入り堤防の質的整備として、堤防断面拡幅（堤防腹付け）や浸透対策（止水矢板、天端舗装）などを実施し、天端幅 7.0m の堤防として平成 22 年度に完成しました。



### 東日本大震災に耐えた寺島堤防

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の際には震度 6 弱（岩沼市桜）の激しい揺れと千年に 1 度と言われる大津波に耐えました。

近傍には津波から避難できる高台がなかったことから、寺島地区の方々はこの寺島堤防に避難できたことにより、多くの命が救われました。



〈東日本大震災後の岩沼市長コメント（平成 23 年 3 月 28 日）〉  
阿武隈川左岸 4k 付近の寺島地区（約 44 戸）の住民は、大津波警報が出た時、近くに高い場所が無いため、阿武隈川の左岸堤防に逃げた。  
海からの津波と川を遡上してきた津波の挟み撃ちに合い、もうダメかと諦めたが、越水することもなく、また堤防が崩れることも無く命拾いした。おかげで寺島地区には犠牲者が 1 人もいない。  
自衛隊もこの堤防は頑丈だと言っていた。質的整備をしてもって本当によかった。

### 寺島堤防の碑の建立

震災の記憶と経験を後世に伝えるため、平成 29 年 3 月 4 日に寺島地区の皆様、石井啓一国土交通大臣、菊地啓夫岩沼市長、西村明宏衆議院議員、川瀬弘之東北地方整備局長ご参加のもと、寺島堤防の碑除幕を行いました。

